

会 議 録

会 議 名	小金井市図書館協議会 第1回		
事 務 局	図書館		
開催日時	平成19年7月19日(木)13時30分～15時30分		
開催場所	小金井市立図書館 別館		
出席者	委員	小杉山 清 平井 崇子 小川 徹 兼森 順子 矢崎 省三 山口 源治郎 君川 恵子 高橋 秀子 野垣 成恵	
	欠席者	松尾 耕作	
	事務局	石川生涯学習部長 田中図書館長 安居庶務係長 樺沢奉仕係長 上石主査 川口主事	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 協議事項</p> <p>(1)平成18年度の事業実績報告について</p> <p>(2)図書館別館使用要綱の制定について</p> <p>(3)小金井市子ども読書活動推進計画の実施状況についての陳情について</p> <p>(4)その他</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1)市議会6月定例会の報告について</p> <p>(2)その他</p>		

会議結果	
提出資料	<ol style="list-style-type: none">1 平成 18 年度事務報告書2 図書館別館使用要綱3 「小金井市子ども読書活動推進計画」の実施状況についての陳情書
その他	

審議経過（主な発言要旨等）

小杉山会長	只今から平成 19 年度第 1 回図書館協議会を始めます。 最初に異動等により職員が交代しているので事務局から紹介をお願いします。
田中館長	皆さんこんにちは。 この度図書館長の職に就きました田中と申します。図書館は本館が昭和 50 年に建ちまして、それから 7、8 年経ってから異動して来ました。そのころは本館しかなく利用者もまだ少ない時代でそういった中で第 1 回図書館協議会を立ち上げる中で小杉山先生、小川先生に力添えをしていただきました。この協議会の皆さんから力添えをいただいて利用者のためになればと思っていますのでよろしくお願いいたします。 それでは職員の交代について紹介させていただきます。 庶務係長が安居に代わりました。
安居係長	はじめまして、安居と申します。都市建設部の計画課にいました。図書館は初めてで何も分かりませんが、皆さんに仕事を教わりながらやりたいと思います。よろしくお願いいたします。
田中館長 菊池副主査	それから、市民課から菊池が、健康課から関口が参りました。市民課から参りました菊池です。以前図書館に十数年ほどいました。またよろしくお願いいたします。
関口主事	健康課から参りました関口です。図書館に異動が決まった時には知的な仕事ですねと言われましたが実際は体力仕事でした。またギックリ腰でもしないようにしたいと思います。よろしくお願いいたします。
田中館長	あと分室ですが、東分室で池田が、緑分室で伊藤が副主査から主査ということで係長職となりましたので報告させていただきます。 それから組織改正により教育委員会学校教育部と生涯学習部に分かれました。石川教育部次長が生涯学習部長となりましたのでよろしくお願いいたします。以上です。
小杉山会長	ありがとうございました。 それでは（1）平成 18 年度の事業実績報告について議題に入ります。事務局から説明をお願いします。
安居係長	（平成 18 年度事務報告書の資料説明）
小杉山会長 矢崎委員	ありがとうございました。何か質問はありますか。 大学図書館との連携についてですが事務報告書の項目 5 は何の数字ですか。
樺沢係長	大学から頂いている大学図書館の利用カードの貸出件数です。

山口委員	登録者数ですが資料を見ると10万人中9万人登録というのは更新がされていないと思います。これでは統計として意味がないので整理した方がいいと思います。
田中館長	そうですね、この数字は累計されてしまっているので整理したいと思います。
山口委員	加えてですが、協議会には1人あたりの蔵書数のようなもっと細かい資料を出していただくとサービスの現状を把握しやすいと思います。
田中館長	そうですね、比較できる資料で「小金井の図書館」というのを出していますが今年度版が間に合わなかったのも、次から間に合えば出すようにしたいと思います。
兼森委員	協議会は年3回しかないのもので毎年7月の協議会にはデータが間に合うようによろしくお願いします。
田中館長	はい、次からは提出したいと思います。
小杉山会長	図書の入、廃棄についてですが廃棄が14,568冊に対して受け入れが少ないような感じですが予算的にはどうでしたか。
田中館長	今年度については400冊程度の増加です。
小杉山会長	廃棄は毎年このぐらいでしたか。
田中館長	平成17年は約10,000冊、平成16年は11,000冊でした。現在本が溢れている状態で新鮮な本を入れるためにも除籍したいと考えています。次回はさらに増えると思います。
小杉山会長	出版件数が年々増加している中、資料の保管は難しい問題ですね。
石川部長	小金井も保管場所に苦慮しているのが実情です。三多摩どこもそうですが共同保管の方法もひとつの方法だと思いますし、多摩地域全体がシステム作りをしないと溢れてしまうと思います。そのため、現状では廃棄せざるをえない状況です。
平井委員	廃棄の件ですが、児童書を市内の施設に譲っているのは知っているのですが、そのあとで構わないので図書館関係団体にも譲っていただく機会をつくっていただきたいのですが。
権沢係長	今年は8月22、23日にリサイクルを行う予定ですので連絡させていただきます。
山口委員	一般書のリサイクルはやっていますか。
田中館長	やっています。1階玄関横に設けていますがスペースが狭いので先ほどの話のように大々的にやらなければならないと思っています。東分室、緑分室については各センター祭りに合わせて行っております。
野垣委員	東センター祭りに行ったのですが金土日で初日が平日なので、よい本を先生方が取りに来られないとの意見がありました。

樺沢係長	日によって偏りがないうようにバランスよく出していると思いますが、担当には伝えておきます。
小杉山会長	駅前開発が行われているが、線路下の活用についてはどのようになっていますか。
田中館長	図書館資料保存庫の要望を出しましたが、駐輪場、福祉施設等の要望が多く難しい状況です。そこで現在考えているのが部長も先程申し上げた三多摩全体での動きです。三多摩全体で毎年50万冊除籍が出ているのでそれを活用するための共同利用図書館という案です。今年度調査に入り、平成19年度末に報告が上がるのでそれを待って検討したいと思います。
小杉山会長	共同利用ということで都も関わらなくなりました。新館建設どこにできるのかも、いつできるのかも分からない。しかし声を上げ続けることが図書館の戦略として大事だと思います。
平井委員	三多摩の図書館もひとつの方法ですが、離れていると不便なので近くにあることが利用者にとっては大事だと思います。図書館自体が狭いので資料庫までも遠慮することなく声を上げていただきたい。緑分室でリサイクルが行われていたとき他市の図書館協議会委員長が見えたが新しいいい本がリサイクルされているのに驚いていました。特に分室は資料庫が少ないから声を大にしていきたいです。
田中館長	現状では市内は非常に難しいので三多摩全体でと考えています。買った冊数分捨てなければならぬ状態で、保存場所は必要だと思います。この別館を建てたので地下集会室を閉架にする事も考えましたが、集会室機能が縮小されてしまうのでそれはやめました。今後様々な方法で検討していきたいです。
野垣委員	統計で蔵書数と貸出冊数で分室ごとに差があるが、館の間で交流はありますか。
田中館長	確かに東分室が低いと思います。東分室は市境で人口の少ないところに立地しており、開館当時から伸び悩んでいます。緑分室が多い理由は、線路の北側に図書館が1つしかなく、駐車場はないが駐車できるスペースがあるからだと思います。 交流については毎週木曜日に選書会議を開き話し合いをしています。
野垣委員	緑分室はおはなし会を頻繁にしていますが、東分室では乳幼児向けのおはなし会に力を入れていると聞いたのでその辺が関係あるのかとも思いますが。
田中館長	東分室は利用が少ないので、図書館で毎年講演会を実施していますが、今年は東分室で行いたいと考えています。また、乳

<p>小杉山会長</p>	<p>幼児向けお話会は館の特色性のある行事だと思います。 以上で事務報告を終わりにします。 続いて（２）図書館別館使用要綱の制定について事務局お願いします。</p>
<p>田中館長</p>	<p>それでは図書館別館使用要綱について説明いたします。すでにご案内のように、市民の自己啓発・学習の推進・支援及び図書館関係団体の活動援助のため、平成18年度予算にて、図書館本館の南側に図書館別館を建設していましたが、3月26日に完成し、5月1日に開館しています。本要綱につきましては、前回の図書館協議会に「案」として提出したものを、いただいたご意見を反映させて、調製したものです。</p> <p>使用団体については生涯学習団体だと幅広くなりすぎるのではとのご意見がありましたので、本要綱には盛り込んでありませんが、登録をとというご意見もありましたので、事前登録という形で、真に図書館関係・連携団体に限定させていただきました。</p> <p>次に申請の時期ですが早い時期から部屋の確保が出来たならば、とのご意見がありましたので、3ヶ月前から申請が出来ることにしました。</p> <p>次に要綱名についてですが「貸出」ではなく「利用」では、とご意見がありましたので、市で統一的に使われている「使用」というように変更しました。</p> <p>また、生涯学習の生涯はとったほうがよいのではとのご意見がありましたので、学習のみにとどめました。</p> <p>夜間開館のご意見についてですが、これにつきましては今後の使用状況をみながら、更に要望などを伺いながら検討していきたいと思います。</p> <p>続きまして別館の使用状況について報告します。</p> <p>使用にあたっては、個人使用と団体使用とに分けており、個人使用は、金曜日・土曜日・日曜日・祝日とし、団体使用は、火曜日・水曜日・木曜日としています。</p> <p>5月の状況ですが、団体使用日の出来る日が14回、うち使用日が11回で使用率78.5%、個人使用日が12回で、延べ使用人数は57人で、一日平均4.7人でした。うち団体使用日には図書館事業としての毎週水曜日の「おはなし会」もこちらで開催しており、これも回数に含んでいます。</p> <p>団体使用は使用率が高かったのですが、個人使用には伸び悩んでおり、使用率アップ対策として市内の小学校10校、中学校6校及び高校5校に個別に使用案内を送付し、PRに努めています。</p>

	<p>直近の使用状況は1日の日曜日が最大14でした。数え方ですが、1時間ごとに何名いるとの数え方なので、出入りまでは把握していません。</p>
<p>小杉山会長 兼森委員 田中館長 野垣委員</p>	<p>この件については以上です。 何か質問はありますか。 個人使用の年代はどうか。 小学生から一般の方まで幅広く使用していただいています。 以前見たときに騒音が激しく使いにくい印象を受けたが実際使ってみてどうですか。</p>
<p>樺沢係長</p>	<p>当初は心配していましたが特に担当からは声は上がっていません。</p>
<p>田中館長</p>	<p>当初は地下集会室を閉架にする方針でしたが、集会室機能を残して併用することにしました。今後使用しながら様子を見ていきたいと思います。ただ現在は除籍本の一時保管場所となっているので、それを了解の上で使用していただいています。</p>
<p>平井委員</p>	<p>別館は音が反響して聞き取りづらいので、カーテン等で防音をしてはどうでしょうか。</p>
<p>田中館長 小杉山会長</p>	<p>また別途予算を検討したいと思います。 では続きまして、(3)小金井市子ども読書活動推進計画の実施状況についての陳情について、に知りたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>お願いします。</p>
<p>田中館長</p>	<p>お手元にある「小金井市子ども読書活動推進計画」の実施状況についての陳情書をご覧ください。平成19年4月10日に開催された第4回教育委員会定例会において、「小金井市子ども読書活動推進計画」の実施状況についての陳情書が提出され審議されました。</p> <p>審議に先立ち、陳情者から陳情の内容説明が15分間おこなわれました。内容ですが、「多摩の中でも八王子市に続いて作られた先進的な計画であり評価している。答申の最初に書かれている、生涯学習時代の文化の拠点となる図書館の役割や運営改善等について、本協議会の意見を述べるが、図書館長及び図書館職員は、これを市民の声として真摯に受け止め、市民が図書館を利用しやすくするために最大限の努力をすべきである、その気持ちはまったくその通りであって、私たち市民も感動した」と述べ、3年経過した中でPRの取り組みがどうであったのか、また、図書費の増額や配架の見直し、図書館や学校図書館の古い資料について述べられました。</p> <p>この後、議題となり、質疑が行なわれました。</p> <p>ここでは主な質疑の概要について報告いたします。詳しくは平成19年第4回教育委員会定例会の議事録をご覧ください。</p>

まず図書館協議会の委員構成について質問がありました。次に子どもの読書活動などについてどのようなPRがおこなわれているか、市報・ホームページではどうなのかです。

私のほうからは、市報での子どもの読書活動推進計画についての直接的な表現はないが、ホームページでは進捗状況をPRしており、児童と本を結びつけるために行事を頻繁に実施しており、そういった中で読書活動が普及していくように努めている。必要に応じてテーマ図書を展示している、と答えました。

続いて学校図書の内容の選定と、図書館の選定は、との質問がありました。

指導室長から学校図書の選定方法、私からは図書館の選書会議について説明しました。

次に学校図書の充実について質問があり、学務課長から文科省が設定した学校図書館図書標準にのっとり整備を実施しているとの説明がありました。教育委員会としては、各学校の中で独自の図書選定をされて、充足率110%と言う形を出していただいていると理解しているとのことでした。

次にその学校、その学校で多少カラーが出るということなのか、については指導室長から、各学校で、小学校であると、例えば、総合的な学習の時間で、環境を主にやりたいというのであれば、当然それに関わる本が増える年があるし、子どもたちの読書のスタートということでも重視をしたいということであれば、絵本が増えていくこともあるし、さまざまな学校の子どもたちの実態、また学校がどういう方向に進んでいくのかという学校の経営方針を含めて、さまざまな学校のカラーがこういうところに出てくる。子どもの要望、そして学校長がどのような学校の経営方針でいくのか、そういうことを踏まえながら、学校長の判断で最終的には選択をしているものです。

次にこのごろ大変図書室が充実して、子どもたちにとってより学習しやすい環境になったかなというのを、学校を見て痛切に感じている。先日、たまたま新聞を見ていたら、図書室、図書館で調べものをするときに、どういう本がいいかなと教えてくれる方や、相談に乗ってくれる人がいたほうがいいのかというようなことを質問した結果が出ていた。小金井では現実に司書が配置されているが、司書というか、非常勤であったり、補助員であったりという方がいらっしゃるが、現状、どのような配置状況になっているのか。それから、教員で司書資格を持った者がどのようにになっているのか、その辺を教えてください。という質問がありました。

これに対しては、学校図書館には、今、補助員という形で、

週1回、委託であるが人員配置をしている。これは、1日5時間で週1回ということで配置している。この打ち合わせ等の時間もすべて入っていて、これは専門の研修を受けた者が入っている。非常に子どもたち、また教員からも、専門性があるということで、高く評価されている、という説明がありました。

次に、学校での、実際に児童、生徒の図書室の利用度、あるいは指導して、ある時間をとって、読書の時間をつくるとか、そういうような取り組みは各校によって違うのか、との質問がありました。指導室長から、基本的には、例えば昼休みとか放課後等を開放し、自由に閲覧、また、貸し借り等をするような形の機会を設けている。また、いわゆる授業で、国語科の授業であるとか、社会科であっても理科でもそうであるし、総合的な学習でもそうであるが、授業の中で図書館を活用して調べ物をする、また読み聞かせも含めて、教育活動の中で活用していることが主である、との説明がありました。

次に、この陳情書の2番の蔵書構成のところ、学習資料不足が蔵書構成の最大のポイントになっていると書いてあるが、図書館に行ってもそうである、例えば、緑分館に行っても、入りきれないぐらいの量があるような感じがするが、まだまだ買えば入るのかどうなのか、廃棄してまた入れるとか、その辺はどうなのか、との質問がありました。

これには私のほうから、図書館全体の図書を見ると、今現在、42万冊、本があるが、これは現在、分室も合わせて2,363平米しか広さがない。この平米数では面積が狭くかなり本があふれているという状況になる。新しい本を買っていると、どんどん本を捨てていかなければ次の本が入らない、新鮮な蔵書になかなか変わっていかないという現状がある。ご指摘があったとおり、絵本等は児童室の場合、充実はしているが、確かに学習指導室のコーナーについては本が山積み状態になっているので、入れかえると、今ある本を捨てて新しい本を入れることになってしまうので、これまたなかなか難しい状況が生じているところである。根本的には図書館自体が非常に狭いところに問題があるのかと認識している、と説明しました。

次に、コンピュータで調べれば簡単に調べられる時代になってきていて、その辺は図書館長としてどんなふうなお考えを持っているか、との質問がありました。

このことについては、本で調べた場合に、実際に手にとって、本をめくって、そのときにいろいろなものが目に入ってくるわけである。関連づけられていろいろなものを覚えられるという効果が本の場合にはある。それがやはり本の最大のメリットか

と思っている、とお答えしました。

次に、図書館にCDとかDVD、とかのメディア関係はどうなっているのか、との質問がありました。

これについては、音楽関係CDについては、今、収集をしている。AV関係については手をつけていないところである。ただ、図書館としては、情報発信の基地であるので、当然、そちらの分野も充実していかなければいけないと考えているが、現状ではまだそういう段階にいたっていない、とお答えしました。

次に、図書館は本を貸し出すだけでなく情報の発信をしていく場所であると同時に、いろいろな研修活動も必要だと思うが、どのような活動をしているか、もし例があったらお話しいただきたい。との質問がありました。

これについては、研修について言えば、19年度であるが、おはなしボランティア養成のために、まだ経験されていない方を対象にした初級レベルの方、あるいはレベルアップのためにおはなし会講座を計画している。内容として、乳幼児対象のおはなし会であるとか、あとは絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング、パネルシアター、ブックトーク、それから、絵本とか児童文学講座を予定している。この中から適当なものを選んで、おはなし講座として実施していきたいというふうな研修を考えている、とお答えしました。

次に、図書館に対する図書購入費についての質問があり、これについては、16年度は3,400万、平成17年度で3,550万、18年度は3,728万、19年度については3,800万である。わずかであるが増加している、とお答えしました。

そして一定の質疑が終わり総括に入りました。

委員長から、「小金井市の図書館の特徴として、市内の大学との連携であるとか、そういうのも僕は大変評価すべきであるし、その辺の蔵書も大いに利用できるということは大変ありがたいなとは思っているし、それから、また、昨年度の末には、別館という形で学習室もできた。これも古屋前図書館長が頑張っていたいただいたおかげかなと思っている。しかしまだ、先ほど新しい図書館長から説明があったが、実際には図書をもっと充実したくてもしょうがないという物理的なスペースの問題、そうすると、新しい図書館を建てなきゃしょうがないじゃないかなと盛んに思ったわけだが、それから、私流に考えれば、インターネットを活用するような情報発信基地みたいな図書館も必要だろうと思うし、小さい子が、子育て

てしながら、親子で一緒に本を読むコーナーができるようなゆとりのある図書館がやはり求められてくるなと思う。

やはり市民が、皆さんで集まってそこで図書に、活字を通して勉強することももちろんであるが、いろいろな形でこれから要求がどんどん増えていくのではないかと思っている。

今、ここで陳情を出していただき、改めていろんなことがわかった。すぐできることもあれば、意見として出ているようになかなかできないこともあるということで、採択か不採択かというよりも、この意思を酌み取りながら趣旨採択という形にしていきたいと思うが」、との集約があり、委員の意見を諮ったところ趣旨採択ということで異議がなく、「小金井市子ども読書活動推進計画」の実施状況についての陳情については、趣旨採択ということで決定されました。

以上が第4回教育委員会定例会にかけられた陳情結果です。

今後の「小金井市子ども読書活動推進計画」についてのスケジュールですが、平成19年度の進捗状況についてはまだ把握をしておりませんので、次回の協議会までに集約し、必要とあればこの趣旨を生かしたものに計画を変更し、報告したいと考えています。

なお、本計画は平成20年が終期となりますので、「第2期小金井市子ども読書活動推進計画」を策定するために庁内検討委員会を平成19年度中には立ち上げていきたいと考えています。

この件につきましては以上です。

何か質問ありますか。

現在の計画について2期目を考えていただきありがとうございます。こういうものは中長期的視野で取り組むことが大切だと思います。

計画の進捗状況については図書館協議会が見ていくことになっているが、これは図書館法の定める協議会の権限を越えるものです。また、事務局が図書館長となっているのも図書館長の権限を越えています。今後進めるにあたっては生涯学習部長にはご配慮をお願いします。

図書館協議会は図書館長の諮問機関として設置されています。基本はそういう姿勢ですが、他にも意見を伺っておりますので、計画を推進する場合には伺いたいと思います。ハード面では満足いく施設とはいえないですが現状は現状として受け止め、ソフト面で市民によりよいサービスが出来るように職員一丸となって取り組みたいと思います。第3次基本計画にも図書館新館設置の調査委託料が平成22年度に計上しています

小杉山会長
小川委員

石川部長

平井委員	<p>のでそこに向かって進めていきたいと思います。</p> <p>学校図書室に行く機会がありましたが、質・量共に不十分でした。学校補助員についても週1回、5時間は三多摩の中でも少ないので充実していただきたい。</p>
小川委員	<p>学校関係と話をする機会はありますか。</p>
田中館長	<p>子ども読書活動推進計画を通して話をする機会があります。</p>
小川委員	<p>図書館としての意見を伝えて欲しい。</p>
田中館長	<p>そのつもりでおりますが、ただ権限は校長にあるのでなかなか難しいです。</p>
石川部長	<p>学校の中で優先順位があると思うが、図書館としてはお願いし続けたい。</p>
小川委員	<p>団体貸出システムを検討する等学校図書室充実のために方策はないでしょうか。</p>
田中館長	<p>団体貸出はクラス単位なので図書室の充実には繋がらないと思います。</p>
石川部長	<p>学務課が担当ですが平成19年4月の段階で充足率は小学校が95.6%で他は100%を超えています。中学校についても95.5%で決してまったく不足している状況ではないようです。</p>
小川委員	<p>その内訳ですが、読まれない古い本も含まれている。調べ物学習に対応したものを増やして欲しいと思い、そこで図書館と連携して欲しい。</p>
兼森委員	<p>学校図書室の子どものニーズはとても高いと思うので、図書館ボランティアももっと積極的に活用すべきだと思います。しかし、学校側がもっと積極的に図書活動をしていかないと外部からではなかなか難しいと思います。学校も厳しい状況の中、図書館・ボランティア等に広くサポートを求めてはどうかという意見を協議会として言えたらと思います。</p> <p>それと、前回の協議会で調べ物学習の際テーマに沿ったものを図書館でセットを用意できないかと言いましたが、早速担当の方が実行していただきまして、これからも連携を続けていただきたいと思います。</p>
野垣委員	<p>学校図書館図書の調査の中で蔵書数に寄付・学級文庫を含むと見て驚きました。学級文庫には図書室に置けないようなボロボロの本や、読まれない古い本も置かれています。それを数に入れて充足率を満たしていると言われても質の面で心配です。</p>
石川部長	<p>学校によってまちまちですが確かに気になります。学校も青少年育成について予算をつけてやっていると思うが、我々もボランティアの協力を得て子どものためになるように考え、そのようなご意見があることを伝えたいと思います。我々がやりま</p>

<p>小杉山会長</p>	<p>すとはお答えできないものですが、生涯学習部としての役割は果たしていきたいと思ひます。</p> <p>教育委員会では図書館問題が良いことだと思ひます。学校教育と社会教育はなかなか踏み越えることが難しい分野ですが提言していくことは大事ですので指導室長を通して各学校に連絡していただければと思ひます。</p> <p>では次に報告事項に入ります。(1)市議会6月定例会の報告について事務局お願いします。</p>
<p>田中館長</p>	<p>6月議会につきましては、6月1日に開会し28日に閉会しました。図書館からは、図書館別館のエレベーター保守点検の委託料について補正として311千円を上程し可決しています。</p> <p>この図書館別館の法定点検であるエレベーター保守点検に関しては、新設時の1年間は保守点検料がサービスに含まれているものと思ひ込み保守点検料を予算措置していませんでした。実際にはサービス分としては3か月分のみであったため、5月からの使用開始により、8月からの8か月分について保守予算を確保する必要があるため今回補正予算として提出したものです。今後の予算編成にあたり、こうしたことが起こらないよう、十分に注意して参ります。</p> <p>また、厚生文教委員会に行政報告として、図書館別館の概要及び使用状況について報告しました。特段の質疑はありませんでした。</p> <p>この件については以上です。</p>
<p>小杉山会長 安居係長</p>	<p>何か質問はありますか。</p> <p>連絡事項が2つあります。</p> <p>1つめは図書館協議会委員の任期が今期は平成19年10月31日で満了となります。次の協議会につきましては今までの例にならい各団体に推薦依頼を出したいと思ひます。市民公募委員については8月15日の市報に掲載させていただきたいと思ひます。それを踏まえて次の協議会は11月に実施したいと思ひます。</p> <p>2つめは前回出されていた学校図書館見学ですが、これを第2回の新しい体制の協議会で行いたいと思ひます。</p> <p>以上です。</p>
<p>小杉山会長</p>	<p>本日をもって平成18、19年度の図書館協議会とのことです。年3、4回でそれぞれ皆さんの意見を細かく伺う時間的余裕もなかったですが、この機会に何かあればお願いします。</p> <p>では、最後に一言挨拶をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>小金井市の図書館は東京都で社会教育部長をやっていた時に補助金の申請を受けましたが、なかなか思うように出来ませ</p>

んでした。第一小学校のPTAと話し合い、また、当時の市長と議長が都庁まで来ていただき小金井市の図書館を何とかお願いできないかということで、1年目はダメで2年がかりでようやく補助金を出すことが出来たという大変思い入れ深いところです。図書館協議会が発足したときも会長としてやらせていただきありがとうございました。

いろいろ社会教育施設をやってまいりましたが一番幅広いのが図書館で、年代の幅も広く、需要も高く、大変重要な仕事だと思いますのでぜひ皆さんの協力を得て小金井市の図書館をよくしていってもらいたいと思います。

これからは妻のあとを引き継いで小金井の文化協会の会長さんになってくれとのお話がありますので、引き継ぐ順番が逆のような気もしますが、芸術・文化・心の福祉というのが妻の一つの考え方でしたのでそれを受けながら、また小金井市民のために尽くしていきたいと思いますのでその節には皆さんのお力添えよろしくお願ひします。

長い間お世話になりありがとうございました。

ありがとうございました。

私の方からも一言ご挨拶させていただきたいと思います。

小金井市図書館協議会は年3、4回で少ないわけですが、私も昨年右も左も分からない状態に来まして大変申し訳なく思っております。今回の図書館長は図書館の経験も豊富ですので、ハード面では厳しい状況はございますが先行きの見える方向性を目指していきたいと思います。小金井市はボランティアの支えがあったり、大学連携ができたりと好条件もありますのでそこを活かしながら我々も頑張っていきたいと思いますので今後とも図書館行政にご協力お願いいたします。

ありがとうございました。

それでは本日はこれで終わりたいと思います

石川部長

小杉山会長